CALF

街なかで日本短角種子牛共進会を開催

安全安心の短角牛を真剣審査

牛の発育具合や体型の良さを競う第64回九戸地方日本短角種子牛共進会は10月23日、中町イベント広場で開催。会場には多くの見学客も訪れ、大いににぎわいました。

開会式で外舘正敏副市長は「風評被害など厳しい状況にありますが、これまで守り育ててきたブランドイメージと食の安心・安全へのこだわりが高く評価されています」と激励。八重櫻友夫市議会議長なども祝辞を述べました。

畜産農家が愛情を込めて育てた子牛たち

審査は子牛を月齢ごとに3部門に分けて実施。大きく成長した30頭を審査員が一頭一頭、細かくチェックします。

第2部では見学客が審査結果を予想するジャッジングコンテストも実施。参加者は子牛の体高や胸深のデータを参考に真剣に見極めていました。

審査終了後には、べご汁が振る舞われ、見学客は短角牛の魅力を実感していました

見学者の審査も真剣です

名誉賞のひかりと二又久人さん

審査結果

■各部門の優勝

名誉賞	ひ　か　り（二又　久人）
第1部	さわふじ24（柿木　由蔵）
第2部	ゆ き ひ め（清水川岩男）
第3部	ひ　か　り（二又　久人）

※（　）内は出品者・敬称略

名誉賞 Interview

二又 久人さん

ひびき（母・H17受賞）に似て体が大きく、生まれた時から期待感がありました。これからも安全と安心の短角牛を皆さんに届けていきます。

SPORT

もぐらんぴあ駅伝競走大会

沿道の声援受けたすきをつなぐ

第17回久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会（市体育協会など主催）は11月4日、久慈国家石油備蓄基地前の交差点を発着点とする海沿いコース（18・4キロ）で開催。同大会には中学校男女、高校男女、一般2部門の計6部門に82チーム630人の選手が出場しました。

二子ありささん（長内中3年）の力強い選手宣誓に続き、ピストルの合図で第1区の走者が一斉にスタート。沿道からの大きな声援を受けて選手たちはゴールを目指し、一本のたすきをつなぎました。

一般四区間の部では久慈市陸協チームが2年連続の優勝を達成。第3区を走った七ツ役英継さんは「毎日の練習と各区間でベストな走りができたことが勝因です。景色を楽しみながら走りたかったけど風が強くて大変でした」と喜びと苦笑いの表情でした。

同時に開催された第6回もぐらんぴあ小学生マラソン大会には210人が出場。小学生たちは家族などの声援を受けながら一生懸命にゴールを目指しました。

6学年男子の部で優勝した中田優介くん（平山小6年）は「野球で走りこんでいるので、あまり疲れずにゴールできました。たくさんの人が応援してくれて力になったし、優勝できて良かったです」と笑顔で喜んでいました。

勢いよくスタートする中学・一般七区間の部の選手

沿道の声援を受けて激走。仲間にたすきをつなぎます

HEALTH

地元食材のバランス弁当試食会

見て 食べて バランス実感

成人一食分の適量を体感するバランス食普及啓発事業バランス弁当試食会（市食生活改善推進員協議会主催）は11月12日、元気の泉で開かれ約50人が参加しました。

小田せつ子会長は「バランスのとれた食事の大切さを、目で見て食べてお腹で感じながら、食事＝バランス弁当をイメージしてください」とあいさつ。主食・副菜・主菜などのバランスをイラストで学んだ後は、同協議会が考案した「ひと輝く★バランス弁当Ⅲ」を試食。参加者は彩りや食材の多さを確かめながら満足そうな表情でした。

コマ型の器にきれいに盛りつけられた「ひと輝く★バランス弁当Ⅲ」

友人5人で参加した細田フミさんは「食べやすくて適量。一つ一つ特徴のある味付けで、飽きずにおいしくいただきました」と笑顔でした。

バランス弁当のレシピは保健推進課（61―3315）にお問い合わせください。

試食前の勉強会。食事の組み合わせや量を学びました

除雪作業にご協力を

問下記担当（道路によって担当は異なります）

除雪作業は道路交通を円滑にし、冬期間の市民の生活をスムーズにする大切な作業です。限られた時間で広い範囲を除雪するため、皆さん一人一人のご理解とご協力をお願いします。

1．路上駐車やめてください

路上駐車があると、除雪車が前に進めなくなったり、雪をかぶった車に追突して事故を起こす恐れがあります。

2．道路への雪出しはやめて

歩行者や車の通行の妨げになりますのでやめてください。

3．枝の伐採はお早めに

雪の重みで枝が垂れ下がると除雪や通行の妨げになります。支障の恐れがある枝などの伐採にご協力ください。

4．玄関前などはご家庭で

除雪には細心の注意を払っていますが、除雪車が通った後、玄関前に雪が残るなど大型重機での除雪には限界があります。玄関前や私道、歩道、消火栓の周りはご家庭や地域のご協力をお願いします。

5．凍結抑制剤などの散布を

坂道などには凍結抑制剤入りの砂缶などを設置していますので、散布にご協力をお願いします。また必要に応じて、個別に凍結抑制剤を提供しますので、行政連絡区長を通じてお問い合わせください。

6．公共交通を利用ください

バス路線を優先的に除雪します。雪道の渋滞を緩和するため、できるだけ公共交通機関を利用しましょう。

7．路面状況に合った運転を

路面状況に合ったスピードと安全運転を心掛けましょう。

除雪の担当

●国道45号
三陸国道事務所久慈維持出張所　☎53-2790

●国道281号・395号・県道
県北広域振興局土木部　☎53-4990

●市道
土木課　☎52-2124
産業建設課　☎72-2129

委嘱状を受け取る山王敏男氏（右）

税関名誉署長に山王氏

地域と税関のパイプ役

函館税関（木村祐二税関長）は、11月1日、山王敏男氏に函館税関名誉署長を委嘱しました。山王氏は平成6年9月に初めて委嘱を受けて以来、今回が10期目になります。

委嘱状を受け取った山王氏は「皆様のご指導を受けながら、地域と税関のパイプ役としてできる限りの努力をしていきたい」と力を込めました。

感謝状を受け取った成田校長（左）と三澤署長（右）

租税教育推進校等表彰

小久慈小学校に感謝状

小久慈小学校（成田不美校長）は長年にわたり児童への租税教育を行ってきたことが評価され、11月12日、久慈税務署（三澤敏幸署長）から感謝状を贈呈されました。同校では継続して児童を対象とした租税教室を行っているほか、毎年6年生が税に関する作品の標語部門に応募しています。三澤署長は「児童が毎年変わる中、継続している点が素晴らしい」とこれまでの活動を評価。成田校長は「これからも活動を継続していきたい」と話しました。